



# 2017 農業と自然を体験 砥山農業小学校通信

## 第15回 区切りの農業小学校始まる

新緑もまぶしい季節となり、南区砥山の八剣山果樹園において農業小学校が開校。今年は18家族52人をお迎えして、2017年のスタートです。

この農業小学校は初回から道石狩振興局と市農政部の協力により、また、札幌農学校OBをはじめ八剣山発見隊などの15人のボランティアによって支えられています。

参加者のある母親は「家族で食について話す機会も多く子供にこのような農作業と自然を体験させたかった」と農業小学校に対する期待を述べてくれました。これこそ主催者の目指すところです。これから月1回のペースで10月まで開催されます。



### 入学式 10:00~



桜井先生の歓迎の話と学校の年間計画等の説明に続いて一家族づつ自己紹介をしました。堂々と家族を紹介するお友だちや、両親の後ろに隠れてしまうはにかみ屋さんなど和気あいあいと入学式を終えました。スタッフ一同は皆さんにこの砥山の自然と農業小学校をたくさん楽しんでいただきたいと思っています。【写真上:入学式 下:3回目となる松岡ファミリー】

### 農園見学と山菜採り 11:15~

桜井先生の案内で園内を巡りました。八剣山果樹園は農業小学校のメイン会場となるため園内を把握することが必要です。併せて山菜を摘みながらの見学でしたが、自然に触れるということではとても効果的。



山菜はクレソン、ヨモギ、オオバなど手近なものを摘みました。これらは天ぷらで試食しました。【写真上:園内見学 下左:クレソンを摘むお友だち】  
【下右:山菜を天ぷらに揚げるスタッフ】

### ジャガイモ植え付け 13:00~

まずは種イモ準備作業。今年のジャガイモは「男爵」「北あかり」「アンデスレッド」の3種類、各10kgを植えます。種イモにはすでに芽が数本出ていて、その芽の配置を考えながら二つに切り分けます。大切なのは切り分けられたどちらにも芽を残すことです、と先生は強調しました。



畑ではあらかじめ畝がたてられ、マルチ(ビニールシート)がかけられています。この目的は①太陽光で土の保温をしてジャガイモの生長を促す。②畑が雨によって必要以上の水分を含まないようにする。③雑草が生えにくいようにする、ということです。このマルチに30cm間隔で2列の穴を開け、そこに種イモを配置して約8cmの深さに埋め、土をかぶせておしまいです。今日一番の大仕事でしたが全員で一斉生命働きました。8月の収穫が楽しみです。



【写真上:種イモ切り分け 中左:切り方説明 中右:種イモ】  
【写真下:植え付け作業】

### ネギ・タマネギ植え付け 14:30~



ネギはクサスギカズラ目ネギ科ネギ属に分類される植物で、古くから野菜や薬味として利用されています。東日本で一般的に出回っている白ねぎです。太く白い部分が多いのが特徴です。食べるのは白い部分で、加熱するとやわらかくなって甘味が出ます。緑色の部分も調理して食べられます。今回植え付けたのは「白ネギ(根深ネギ・長ネギ)」で、スタッフが準備し

た深さ10cmほどの穴に苗を入れておしまいです。

タマネギはタマネギはクサスギカズラ目ヒガンバナ科ネギ属に属している植物で、中央アジア原産とされています。マルチに開けられた約100個の穴に土をかき分けて数センチの深さに定植しました。9月にネギと共に収穫の予定です。

【写真左:ネギの苗植え 上:タマネギ苗植え】



入学した家族



山下ファミリー



松原ファミリー



小西ファミリー



一川ファミリー



中村ファミリー



松岡ファミリー



岡崎ファミリー



工藤ファミリー



吉尾ファミリー



土田ファミリー



佐藤ファミリー



橋本ファミリー



笠井ファミリー



山本ファミリー



喜田ファミリー



受付



山菜てんぷら試食



山菜てんぷらに舌鼓



種イモの切り分け



マルチの穴あけ



ジャガイモ植え付け



長ネギ植え付け



タマネギ植え付け



発行：砥山農業小学校  
 代表：瀬戸修一 校長：桜井 学  
 住所：〒061-2275  
 札幌市南区砥山126番地 八剣山果樹園内  
 電話・FAX：011-596-2280  
 E-mail: info-h@hakkenzan.jp  
 http://www.hakkenzan.com/nosyo